

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

1. 事業概要

令和5年の畜産物の生産に関しては、昨シーズンの高病原性鳥インフルエンザの過去最多の発生により、特に鶏卵の生産量が前年に比べ6.1%減少するなど、全国的には大きな影響が出たものの、本県においては各畜種とも概ね順調に推移した。

経営に影響を与える社会情勢については、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが、「5類」に引き下げられたことを機に人の流れや経済活動に変化があり、国内の外食産業の賑わい、輸出向けの挽回生産やインバウンド需要などを中心に緩やかな回復がみられた。

一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・パレスチナ情勢などに起因する原油価格の上昇に加えて、大幅な円安の影響により飼料や資材の価格高騰が長期に渡るなど、全ての畜種においてその経営に大きな影響を及ぼした。

特に今期は、物価高騰のなかで枝肉相場の伸び悩みから子牛価格の下落を招き、肉用牛の繁殖・肥育双方の経営において厳しい情勢が続いた。

このような中、当協会では、飼料価格の高騰対策として県において緊急的に事業化された、畜産経営緊急支援事業の実施主体として多くの生産者に支援し、畜産経営継続の後押しを行った。

また、肉用子牛生産者補給金事業、肉用牛肥育経営安定事業などの畜産経営安定のための各種支援事業や経営指導支援に加え、家畜伝染病対策として、日常的な衛生管理の強化や農場の清浄性の維持を図るための取り組みについて、関係団体との連携を強化しつつ畜産振興関係事業の実施に努めた。

令和5年度における各種事業の具体的な実施状況は以下のとおりである。

2. 事業の実施状況

I. 法人運営管理

1. 総会

(1) 令和5年度定時総会

開催日・場所 令和5年6月26日(月) 島根JAビル

議案

第1号議案 令和4年度事業報告書、財務諸表の承認について

第2号議案 役員辞任に伴う補欠選任について

(2) 令和5年度第1回臨時総会

開催日・場所 令和6年3月29日(金) 島根JAビル

議案

第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算について

第2号議案 生産者積立金融事業資金の借入れについて

第3号議案 役員退任に伴う補欠選任について

付帯決議

2. 理 事 会

(1) 第1回理事会

開催日・場所 令和5年6月9日(金) 島根JAビル

議 案

- 第1号議案 令和4年度事業報告書、財務諸表の承認について
- 第2号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の業務対象年間途中における令和5年度の返還について
- 第3号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務方法書の一部改正について
- 第4号議案 職務権限規程の一部改正について
- 第5号議案 公益社団法人島根県畜産振興協会会長の利益相反取引について
- 第6号議案 役員の辞任に伴う補欠選任について
- 第7号議案 令和5年度定時総会の開催について
- 第8号議案 その他

付 帯 決 議

報 告 事 項

- (1) 家畜伝染性疾病発生予防事業実施規程並びに家畜伝染病予防接種事故対策事業実施要領の一部改正について
- (2) 島根県肉用牛経営安定対策補完事業(強化哺乳技術を利用した早期出荷支援事業)実施要領に係る要領名の変更について

(2) 第2回理事会

開催日・場所 令和5年6月26日(月) 島根JAビル

議 案

- 第1号議案 副会長の辞任に伴う補欠選定について

(3) 第3回理事会(書面決議)

開催日・場所 令和6年3月14日(木) 島根JAビル別館

議 案

- 第1号議案 令和5年度収支補正予算について
- 第2号議案 令和6年度事業計画および収支予算について
- 第3号議案 生産者積立金融資産資金の借入れについて
- 第4号議案 令和6年度役員報酬の決定について
- 第5号議案 役員の退任に伴う補欠選任について
- 第6号議案 令和5年度第1回臨時総会の開催について
- 第7号議案 その他

付 帯 決 議

報 告 事 項

- (1) 償還円滑化積立金に係る返還先調査の取組状況について
- (2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務方法書の一部改正について
- (3) 令和5年度肉用牛肥育経営安定対策補完事業実施要領の一部改正について

(4) 第4回理事会

開催日・場所 令和6年3月29日(金) 島根JAビル

議案

第1号議案 副会長の欠員に伴う補欠選定について

第2号議案 その他

3. 監査会

(1) 令和4年度監査会

開催日・場所 令和5年5月31日(水) 島根JAビル

監査内容 令和4年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、付属明細書、財産目録について監査を受け、適正なものと認められた。

4. 会員の状況

区分	期首	入会	退会	期末
正会員	14	0	0	14
賛助会員	0	0	0	0
計	14	0	0	14

II. 公益目的事業

1. 畜産農家に対する経営の支援・指導のための事業

(1) 畜産経営支援・指導事業

ア. 畜産経営技術指導事業(地方競馬全国協会)

実績額 16,241千円

地域畜産振興のため畜産経営の支援体制の強化を図る事業、地域畜産の活性化・安全かつ安定的な食の提供に資するための事業及び馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業を実施した。

イ. 畜産経営技術高度化推進事業(島根県、自主財源)

実績額 770千円

県内畜産経営体の経営改善・生産力向上のための指導、研修会の開催や情報提供等を行うことにより、本県畜産を担う経営感覚の優れた生産性の高い畜産経営体の育成を図った。

<個別経営支援実績>

畜種	戸数	地域
肉用牛繁殖経営	2戸	隠岐(島後)、大田

<簿記研修会開催実績>

開催地域	回数	受講者
松江	3回	延べ7名
隠岐(島前・島後)	各3回	延べ12名

ウ. 畜産特別資金等推進指導事業（(公社) 中央畜産会）

実績額 1, 165千円

畜産特別資金等借受者の経営状況等を把握するための現地調査及び助言・指導等を行った。

区分	回数	備考
都道府県支援推進協議会の開催	1回	10名出席
経営改善計画達成指導に係る現地調査	延べ 12回	借受者6戸（各戸2回）
借受者の経営改善のための指導資料作成	11部	指導に係る現地調査結果等

エ. 畜産物理解醸成促進事業（自主事業）

実績額 798千円

馬事普及啓発の取り組みを通じて県外において「しまね和牛」をPRするとともに、ホームページにおいて地域畜産物に関する情報提供を行うことで理解醸成を図った。

<しまね和牛PR実績>

開催時期	場所	内容	配布人数
令和5年10月	高知競馬場	来場者に対して、しま	200名
令和5年10月	名古屋競馬場	ね和牛ビーフカレーや	100名
令和5年11月	川崎競馬場	チラシ等を配布した。	200名

オ. 生産技術情報提供事業（(公社) 中央畜産会）

実績額 89千円

家畜の生産技術指導に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータの収集及び収集したデータの分析結果に基づく助言指導を実施した。

畜種	戸数
肉用牛繁殖経営	1戸

(2) 農業機械・装置貸付事業等指導事業

ア. 貸付事業指導等事業（(公財) 畜産近代化リース協会）

実績額 217千円

公益財団法人畜産近代化リース協会から畜産農家に対して貸付された機械施設の確認及び管理状況を調査し、適正な利用についての指導を実施するとともに、リース機械施設の利用拡大を図った。

<貸付状況>

最終借受者数	貸付機械数
6	14

イ. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（(公社)中央畜産会)

実績額 1,816千円

- 1) 県内の各畜産クラスター協議会の中心的経営体を取り組む収益力強化のための機械導入（リース等）事業について、事業の推進業務や事業申請書等の取りまとめ、県との協議窓口業務等を行った。

参加要望協議会数	参加要望取組主体数	参加申請取組主体数	申請機械装置件数
4	5	3	9

- 2) 導入された機械装置の取組主体、リース事業者による検収作業を補完するため、現地確認作業を実施した。

協議会数	取組主体数	機械装置数
1	1	1

ウ. 酪農緊急パワーアップ事業（楽酪GO事業）（(公社)中央畜産会)

実績額 113千円

酪農における経営体質強化に資する事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進会議の開催及び参加要望の取りまとめ等を行った。

区分	回数	備考
事業推進会議の開催	3	会議開催及び現地関係機関へ普及説明による周知
事業参加要望の取りまとめ	1	

エ. 畜産経営体生産性向上対策事業（畜産ICT事業）（(公社)中央畜産会)

実績額 119千円

ICT化等機械装置等導入事業の円滑な推進を図るため、県内における事業推進会議の開催及び事業参加要望の取りまとめ等を行った。

区分	回数	備考
事業推進会議の開催	3	会議開催及び現地関係機関へ普及説明による周知
事業参加要望の取りまとめ	1	

2. 畜産経営安定のための補給金等の交付や生産活動の支援等のための事業

(1) 畜産物価格安定対策事業

ア. 肉用子牛生産者補給金制度（(独)農畜産業振興機構・生産者手数料）

実績額 151,398千円

肉用子牛の価格が低落し、一定の基準価格を下回った場合に、生産者に対し補給金を交付し肉用子牛生産の安定を図る事業である。

令和5年7月～9月期及び10月～12月は黒毛和種において、また令和5年1月～3月は乳用種において平均売買価格が保証基準価格をそれぞれ下回ったため生産者補給金の交付を行った。

令和5年1月～3月期はその他の肉専用種において平均売買価格が保証基準価格を下回り生産者補給金の発動があったが、本県においては該当する子牛がいなかったため交付はなかった。

黒毛和種及び乳用種に対し総額128,980千円余の交付を行った。

令和5年4月1日より肉用子牛保証基準価格及び合理化目標価格が改定された。

1) 生産者積立金造成内訳

単位：円

品種区分	契約頭数	積立単価	積立額	積立額（負担区分）		
				国	県	生産者
黒毛和種	7,640	1,600	12,224,000	6,112,000	3,056,000	3,056,000
褐毛和種	0	6,000	0	0	0	0
その他の肉専用種	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	364	6,800	2,475,200	1,237,600	618,800	618,800
交雑種	1,562	3,200	4,998,400	2,499,200	1,249,600	1,249,600
合計	9,566	—	19,697,600	9,848,800	4,924,400	4,924,400

(注) 1. 契約頭数及び積立造成時期は、令和5年1月～12月

2. 契約生産者の1頭当たり積立金額

黒毛和種：400円、褐毛和種：1,500円、その他の肉専用種：4,700円

乳用種：1,700円、交雑種：800円

2) 特別の積立金

<旧高騰時積立金>

単位：円

品種区分 区分		黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
		期首残高	753,446	0	0	0
増加	積立金	0	0	0	0	0
	運用益	15	0	0	0	15
	小計	15	0	0	0	15
減少	普通財産へ繰入	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
期末残高		753,461	0	0	0	753,461

<償還特別積立金>

単位：円

品種区分 区分		黒毛 和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
		期首残高	0	9,780,624	6,553,375	23,307,953
増加	積立金	0	0	0	0	0
	運用益	0	196	134	688	1,018
	小計	0	196	134	688	1,018
減少	償還円滑化積立金繰入	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
期末残高		0	9,780,820	6,553,509	23,308,641	39,642,970

3) 償還円滑化積立金の造成状況

なし

4) 生産者補給交付金交付状況

単位：戸、頭、円

区 分		黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交 雑 種	合 計
契約生産者数		—	—	—	—	812
契約登録頭数		7,640	0	364	1,562	9,566
保証基準価格	(R5.1-3月)	541,000	320,000	164,000	274,000	—
	(R5.4-12月)	556,000	325,000			
合理化目標価格	(R5.1-3月)	429,000	253,000	110,000	216,000	—
	(R5.4-12月)	439,000	256,000			
R5 1～3月	平均売買価格	613,600	252,300	148,100	308,200	—
	生産者補給金単価	—	67,630	15,900	—	—
	交付対象頭数	—	0	280	—	—
	生産者補給金交付額	—	0	4,452,000	—	—
R5 4～6月	平均売買価格	586,800	—	170,200	304,200	—
	生産者補給金単価	—	—	—	—	—
	交付対象頭数	—	—	—	—	0
	生産者補給金交付額	—	—	—	—	0
R5 7～9月	平均売買価格	521,600	—	196,900	299,600	—
	生産者補給金単価	34,400	—	—	—	—
	交付対象頭数	1,797	—	—	—	1,797
	生産者補給金交付額	61,816,800	—	—	—	61,816,800
R5 10～12月	平均売買価格	522,500	—	182,900	326,600	—
	生産者補給金単価	33,500	—	—	—	—
	交付対象頭数	1,872	—	—	—	1,872
	生産者補給金交付額	62,712,000	—	—	—	62,712,000
合計	交付対象頭数	3,669	0	280	—	3,949
	生産者補給金交付額	124,528,800	0	4,452,000	—	128,980,800

※「その他の肉専用種」については、令和2年度より算定期間が1年(4月～3月)となった。

イ. 和子牛生産者臨時経営支援事業（(独)農畜産業振興機構）

実績額 40,172千円

肉用子牛生産基盤の安定を図るため、合理化促進に向け努力する和子牛（黒毛和種・褐毛和種・その他の肉専用種）の生産者に対し、四半期ごとに公表される平均販売価格が一定の基準価格を下回った場合に、支援交付金を交付する。

令和5年7月～9月期及び10月～12月は黒毛和種において、また令和5年1月～3月は褐毛和種において平均売買価格が発動基準価格をそれぞれ下回ったため支援交付金の交付を行った。その他の肉専用種において平均売買価格が発動基準価格を下回り支援交付金の発動があったが、本県においては該当する子牛がいなかったため交付はなかった。

黒毛和種及び褐毛和種に対し総額39,895千円余の交付を行った。

支援交付金交付状況

単位：戸、頭、円

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	合 計
事業参加申込者数		—	—	—	615
発動基準価格		600,000	550,000	350,000	—
R5 1～3月	平均価格	647,474	535,473	—	—
	支援交付金単価	—	10,800	—	—
	交付対象頭数	—	1	—	1
	支援交付金交付額	—	10,800	—	10,800
R5 4～6月	平均価格	622,067	534,966	—	—
	支援交付金単価	—	11,200	—	—
	交付対象頭数	—	0	—	0
	支援交付金交付額	—	0	—	0
R5 7～9月	平均価格	578,029	543,317	—	—
	支援交付金単価	16,400	5,000	—	—
	交付対象頭数	1,149	0	—	1,149
	支援交付金交付額	18,843,600	0	—	18,843,600
R5 10～12月	平均価格	578,065	565,386	225,689	—
	支援交付金単価	16,400	—	22,500 (R5. 1-3月) 18,700 (R5. 4-12月)	—
	交付対象頭数	1,283	—	0	1,283
	支援交付金交付額	21,041,200	—	0	21,041,200
合 計	交付対象頭数	2,432	1	0	2,433
	支援交付金交付額	39,884,800	10,800	0	39,895,600

※「黒毛和種」については、ブロック別に算出。それ以外は全国の平均価格

ウ. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（(独)農畜産業振興機構・生産者手数料)

実績額 422,843千円

肥育牛1頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合に、契約生産者に対して、その差額の90%を交付金として交付する。交付時にはその4分の3を国の交付金から、4分の1を生産者負担金から交付する。全品種に対し総額410,512千円余の交付を行った。

<令和5年度の契約状況>

契約生産者数	28戸	事務委託団体数	2団体
--------	-----	---------	-----

<令和5年度の生産者負担金積立額>

単位：頭、円

	負担金単価	頭数	金額	備考
肉専用種	11,000	5,727	63,004,000	R5.3月早出1頭(@18,000)含む
交雑種	17,000	2,355	40,035,000	
乳用種	14,000	367	5,138,000	
計	—	8,449	108,177,000	

<交付金単価(1頭当たり単価)の推移>

単位：円

	肉専用種	交雑種	乳用種
R5.4月	6,970.5	—	45,047.7
R5.5月	51,957.0	13,933.8	45,099.0
R5.6月	29,767.5	45,225.0	32,263.2
R5.7月	64,233.9	45,701.1	37,302.3
R5.8月	111,543.3	56,643.3	32,547.6
R5.9月	103,401.0	53,065.8	—
R5.10月	118,838.7	51,198.3	—
R5.11月	38,188.8	16,210.8	—
R5.12月	23,084.1	—	6,732.9
R6.1月	—	—	15,795.9
R6.2月	10,969.2	—	18,615.6
R6.3月	14,664.6	—	35,480.7

<令和5年度交付金交付頭数等>

単位：頭、円

品種区分	頭数	金額
肉専用種	5,655	327,316,361
交雑種	2,272	76,979,337
乳用種	216	6,216,860
計	8,143	410,512,558

エ. 畜産経営緊急支援事業（島根県）

実績額 258,458千円

飼料の高騰により悪化している畜産農家の経営継続を緊急的に支援するために、輸入粗飼料を購入した農家に対し、飼料費の一部を支援金として交付した。

肉用牛農家219戸、酪農家88戸、複合農家16戸に対し総額257,362千円余の交付を行った。

単位：戸、円

区分	R5.1～3月		R5.4～12月		年計
	交付戸数	交付額	交付戸数	交付額	交付額
肉用牛	102	16,705,700	219	45,397,600	62,103,300
酪農	45	34,269,100	88	90,949,200	125,218,300
複合	6	21,095,600	16	48,945,100	70,040,700
合計	153	72,070,400	323	185,291,900	257,362,300

(2) 肉用牛経営安定対策を補完する事業

ア. 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

（独）農畜産業振興機構

実績額 19,615千円

地域の中核的担い手が繁殖雌牛を増頭した場合や、生産農家が互いに助け合う肉用牛ヘルパー活動、条件不利地域である離島での肉用牛生産などに対し補助金を交付することにより、各地域の自主性と創意工夫による生産活動への支援を行った。

18団体に対し、総額15,286千円余を交付した。

<事業の内容と事業費>

単位：円

区 分	事業費		事業実施集団
		うち補助金	
1. 肉用牛生産基盤強化対策事業			
(1) 中核的担い手育成増頭推進	2,340,000	2,340,000	JAしまね雲南地区本部他3集団
(2) 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	210,000	210,000	JAしまね隠岐どうぜん地区本部
(3) 優良繁殖雌牛導入支援	50,000	50,000	JAしまね隠岐どうぜん地区本部
(4) 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備	0	0	
(5) 肉用牛ヘルパー活動推進	13,607,374	5,351,835	やすぎ肉用牛ヘルパー組合他10集団
(6) 特定地域肉用牛広域処理円滑化支援	408,363	272,167	隠岐島後・島前死亡牛協議会
(7) 肉用牛振興推進指導	3,356,229	3,356,229	島根県畜産振興協会
2. 地域の特色ある肉用牛振興対策事業			
(1) 地方特定品種等の振興	0	0	
(2) 離島・山振地域肉用牛振興	7,062,200	7,062,200	JAしまね（畜産課）
(3) 肉用牛振興推進指導	972,443	972,443	島根県畜産振興協会
合 計	28,006,609	19,614,874	

イ. 肉用牛経営安定対策補完事業（強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業）

（（独）農畜産業振興機構）

実績額 1,641千円

肥育牛の出荷時期の早期化に有効な強化哺乳技術を活用した子牛生産の取り組みを支援するため、特定の栄養規格を満たす代用乳を購入し哺育する農家に対し、奨励金の交付を行った。7団体に対し、総額1,182千円を交付した。

〈交付実績〉（交付単価：6,000円/頭）

単位：頭、円

生産者集団名	頭数	奨励金交付額
島根県農業協同組合雲南地区本部	11	66,000
島根県農業協同組合隠岐どうぜん地区本部	26	156,000
島根県農業協同組合石見銀山地区本部	22	132,000
島根県農業協同組合島根おおち地区本部	19	114,000
島根県農業協同組合西いわみ地区本部	26	156,000
三瓶開拓酪農農業協同組合	19	114,000
(一社)島根県配合飼料価格安定基金協会	74	444,000
合 計	197	1,182,000

ウ. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）

（（一社）全国肉用牛振興基金協会）

実績額 811千円

輸出の拡大に向けて輸出に適した和牛肉の増産を図るため、肉用牛の増頭に対し奨励金を交付する事業について、事業の推進業務や事業申請書等のとりまとめ等を行った。

8団体に対し、総額30,150千円の交付となった。

単位：頭、円

取組主体名	頭数	奨励金交付金額	推進事務費	交付額計	備考
安来地区畜産クラスター協議会	7	1,722,000	1,200	1,723,200	
隠岐の島町畜産クラスター協議会	2	492,000	600	492,600	
隠岐島前畜産クラスター協議会	54	11,793,000	34,392	11,827,392	
出雲地区畜産クラスター協議会	31	6,206,000	0	6,206,000	
島根県農業協同組合石見銀山地区本部	21	4,243,000	0	4,243,000	
島根おおち畜産クラスター協議会	2	492,000	0	492,000	
いわみ中央地区酪農・肉用牛クラスター協議会	7	1,722,000	0	1,722,000	
石西地域畜産推進協議会	14	3,444,000	0	3,444,000	
合 計	138	30,114,000	36,192	30,150,192	

(3) 和牛改良支援事業

ア. 島根県肉用牛とも補償制度（島根県）

実績額 300千円

種雄牛造成を組織的、効率的に推進するため、新規種雄牛の交配と産子取得及び産肉能力調査に協力した生産者に対して総額13,089千円の助成金を交付した。

（内訳 県補助金 8,980千円、生産者負担金（とも補償財源）4,109千円）

3. 家畜・畜産物の衛生対策等に係る支援・指導のための事業

(1) 家畜防疫・衛生対策事業

ア. 家畜生産農場衛生対策事業（農林水産省）

実績額 6,102千円

牛ヨーネ病及び伝染性リンパ腫（EBL）、牛伝染性下痢症（BVD）の感染拡大防止対策、伝染性疾病の発生・流行防止のための予防接種を実施し、家畜衛生対策の強化を図った。

1) ヨーネ病対策

<令和5年度ヨーネ病とう汰推進費交付状況>

実施地域	交付頭数	検査機関
飯南町	1	家畜保健衛生所
大田市	1	
益田市	1	

2) EBL感染拡大防止対策

<令和5年度EBL検査実施状況>

実施地域	検査頭数	検査機関
安来市	35	家畜保健衛生所
出雲市	173	
雲南市	21	
飯南町	14	
大田市	62	
浜田市	1,076	
美郷町	115	
益田市	2,085	
津和野町	75	
計	3,656	

3) BVD対策

<令和5年度PI牛のとう汰費交付状況>

実施地域	交付頭数	検査機関
—	0	—

4) 伝染病発生・流行防止のための防疫促進

組織的な対応が発生予防に有効な吸血昆虫媒介疾病の予防接種推進、家畜自衛防疫推進会議を開催した。(接種実績は<令和5年度主要予防注射実施実績>参照)

イ. 家畜伝染病発生予防事業 (独自事業)

実績額 46,628千円

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、清浄性の維持を図るため予防接種を推進した。

1) 家畜自衛防疫推進会議の開催

家畜自衛防疫事業の円滑な推進を図るため、関係機関、家畜自衛防疫団体等の出席のもと推進会議を開催した。

区 分	開催時期	開催場所	参集範囲
家畜自衛防疫地域推進会議 (2回)	令和6年2月	出雲市 浜田市	家畜保健衛生所、自衛防疫団体 (JA、市町村)、農業共済組合、獣医師会他

2) 広報事業等

家畜衛生対策の普及啓発と情報提供のため、以下の広報事業等を実施した。

ア) 生産者及び関係機関に各種衛生関係パンフレット、カレンダー等を配布した。

イ) 防疫指導機関及び指定獣医師に動薬手帳等を配布した。

3) 予防注射の実施

家畜伝染病の発生、流行防止のため家畜自衛防疫団体及び指定獣医師等と連携し、以下の予防注射を行った。

<令和5年度主要予防注射実施実績>

予防注射の種類	実施頭数	前年対比 (%)
牛5種混合 (牛伝染性鼻気管炎)	6,318	97
牛イバラキ病	1,688	104
牛ヘモフィルス感染症	5,394	101
牛アカバネ病 ※	238	69
牛異常産3種混合 ※	1,244	91
牛異常産4種混合 ※	10,066	96
馬3種混合、馬インフル、日本脳炎	131	106

参考：※印は家畜生産農場衛生対策事業対象疾病

4) 飼養衛生管理基準啓発普及支援事業

家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」の啓発普及を支援することにより、生産段階における防疫措置・体制の一層の強化・推進を図るため、以下の事業を実施した。

ア) 高病原性鳥インフルエンザの蔓延防止のために鶏を100羽以上飼養している農家に飼養規模に応じ消石灰を配布した。

イ) 豚熱の蔓延防止のため、豚を飼養している大規模農場5戸に飼養規模に応じて消毒薬を配布した。

ウ. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 472千円

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザ等のワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発などの取組みを行い馬伝染性防疫推進の徹底に努めた。

馬防疫推進のため、地域対策検討会を開催した。

<地域対策検討会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内容
令和5年7月 令和6年2月	出雲市 出雲市	県家畜衛生関係機関 JAしまね、獣医師会 県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、馬インフルエンザ等のワクチン接種推進の協議

エ. 馬飼養衛生管理特別対策事業 ((公社)中央畜産会)

実績額 858千円

馬防疫推進のため、委員会及び講習会の開催と馬獣医療実態調査を実施した。

<委員会開催状況>

開催時期	開催場所	参集機関	内容
令和5年7月	出雲市	県家畜衛生関係機関 JAしまね、獣医師会 県農業共済組合	事業実施状況の報告及び事業推進、講習会開催等の協議

<馬獣医療実態調査実施状況>

調査時期	調査戸数	内容
令和5年10月	18	家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理区域の設定、重要な馬伝染性疾患の認識度、地域獣医療の実態調査県下全域

<馬衛生管理技術地方講習会開催状況>

開催時期	場所	参加者	講師	講演内容
令和5年9月	益田市	26名	山口大学 共同獣医学部	馬の蹄疾患の予防管理

<馬衛生管普及検討会開催状況>

開催時期	場所	参加者	講師	講演内容
令和5年9月	浜田市 出雲市 雲南市	35名	山口大学 共同獣医学部	馬の公開診療による獣医療体制の構築

オ. 牛疾病検査円滑化推進対策事業（農林水産省）

実績額 2, 794千円

島根県及び地区死亡牛処理協議会と連携し、死亡牛の適切な管理・輸送とBSE検査の円滑化、適正処理を推進した。

＜令和5年度死亡牛適正処理実績（化製処理頭数）＞

単位：頭、円

処理頭数	地区別頭数（内訳）							生産者に対する補助金交付実績
	東部	雲南	出雲	県央	石西	島前	島後	
158	11	42	37	47	8	10	3	1,888,600

備考：当該事業補助対象は96ヶ月齢以上及び96ヶ月齢未満の検査対象死亡牛

カ. 家畜防疫互助基金支援事業（(公社)中央畜産会）

実績額 1, 758千円

家畜の伝染病が発生した場合（口蹄疫、牛疫、牛肺疫、CSF及びASF）、農家への経営支援策として生産者と国で基金を造成し、生産者の経済的損失を生産者が互助補償する事業に養豚農場、各JA及び酪農組合の協力を得て本事業を推進し、生産者積立基金を造成した。

＜令和5年度契約戸数・頭数及び生産者積立実績＞

単位：戸、頭、円

畜種	飼養戸数	飼養頭数	加入者数(加入率)	契約頭数(加入率)	積立金
乳用牛	824	11,594	675 (81.9%)	11,792 (101.7%)	2,501,075
肉用牛		32,549		28,156 (86.5%)	4,211,665
豚	6	40,941	5 (83.3%)	37,548 (91.7%)	5,193,720
計	830	85,084	680 (81.9%)	77,496 (91.1%)	11,906,460

(注) 飼養戸数及び飼養頭数：令和5年2月1日調査

(2) 農場衛生管理推進事業

ア. 家畜防疫・衛生指導対策事業（(公社)中央畜産会）

実績額 2, 311千円

1) 地域自衛防疫推進事業

家畜伝染病発生時の対応等を支援するため、防疫演習を行うと共に飼養衛生管理基準に基づく防疫対策の取組等の検討を実施した。

ア) 地域自衛防疫強化推進対策

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効活動方策等の検討会の開催(年2回)

イ) 地域自衛防疫対策の推進（防疫演習の共催）

高病原性鳥インフルエンザ、口蹄疫、豚熱並びにアフリカ豚熱の防疫対策として、県が開催する防疫演習を支援し、防疫体制の整備・定着を図った。(防疫演習：2回)

2) 地域農場HACCP認証支援事業

生産農場での衛生管理システム構築、内部検証及び継続的な改善の実施など農場HACCPの取組みを推進し、農場HACCP認証制度の普及促進を図った。

ア) 普及推進協議会等開催

①普及推進協議会

地域における畜産関係団体、農場HACCP関係者による普及推進のための方策について検討

②地域取組促進活動

地域における農場HACCP関係者による、普及推進のための方策の検討、農場への取組みの周知などの活動

- ・農場HACCP認証制度研修会・講習会
- ・農場HACCP認証制度取組調査

イ) 農場HACCP認証構築指導推進事業

①構築指導意見交換

②構築指導事業

(3) 獣医師養成確保対策事業

ア. 獣医師養成確保修学資金給付事業（農林水産省・島根県）

実績額 9,055千円

本県での産業動物臨床獣医師への就業を志す獣医学生に対し、獣医修学資金の給付を行い、産業動物臨床獣医師の安定的確保を図るため、給付希望学生を募集し、4名の学生（継続2名、新規2名）に対して獣医修学資金を給付した。

また、返還の申し出があった1名の給付者について、その処理を行った。

イ. 獣医師確保対策就職奨励金給付事業（島根県）

実績額 30千円

本年度は給付対象者が無く、就職奨励金の管理のみを行った。

（平成28年度基金造成費 10,000千円 給付金額：500千円/名）

<令和5年度奨励金実績>

- ア) 就職奨励金実績 0名分： 0円
- イ) 就職奨励金残額 7名分：3,500,000円

Ⅲ. 収益事業等

収益1 書籍販売事業

実績額 172千円

中央畜産会の月刊誌「畜産コンサルタント」その他参考となる図書の購読を斡旋した。

その他1 畜産関係調査登録事務等受託事業

(1) 家畜飼養実態調査受託事業

令和5年度実施なし。

(2) 種馬登録事業

種馬登録事業（(公社)日本馬事協会）

実績額 58千円

公益社団法人日本馬事協会が行う種雄馬管理の事務を受託実施した。

(3) 畜産関係団体活動支援事業

地域畜産支援指導等体制強化事業（(公社)中央畜産会）

実績額 2,187千円

生産者等からの各種相談に応じるため、相談窓口を設置し、総括畜産コンサルタント、畜産コンサルタント及び非常勤コンサルタントを配置した。

また、適切な対応を行うために、所属役職員は研修会等に参加し、スキルアップを図った。

さらに、「4県合同（広島・鳥取・岡山・島根）畜産女性の意見交換会」の支援を行った。

その他2 畜産関係団体事務局事務受託事業

実績額 7,107千円

県内で活動する畜産関係団体等の事務局業務を受託実施した。

また、畜産団体相互の交流事業に対する支援を行った。

事務局事務受託先	
島根県牛乳普及協会	しまね畜産女性ネットワーク
島根県乳業協会	島根県死亡家畜処理推進連合協議会
島根県養鶏協会	島根県養鶏クラスター推進協議会
島根県馬事畜産振興協議会	島根県肉用牛とも補償運営委員会
家畜商講習会	